

【主題名】自他の生命の尊さ

【教材名】臓器ドナー (日本文教出版 3年)

日高村立日高中学校

発行

令和5年3月

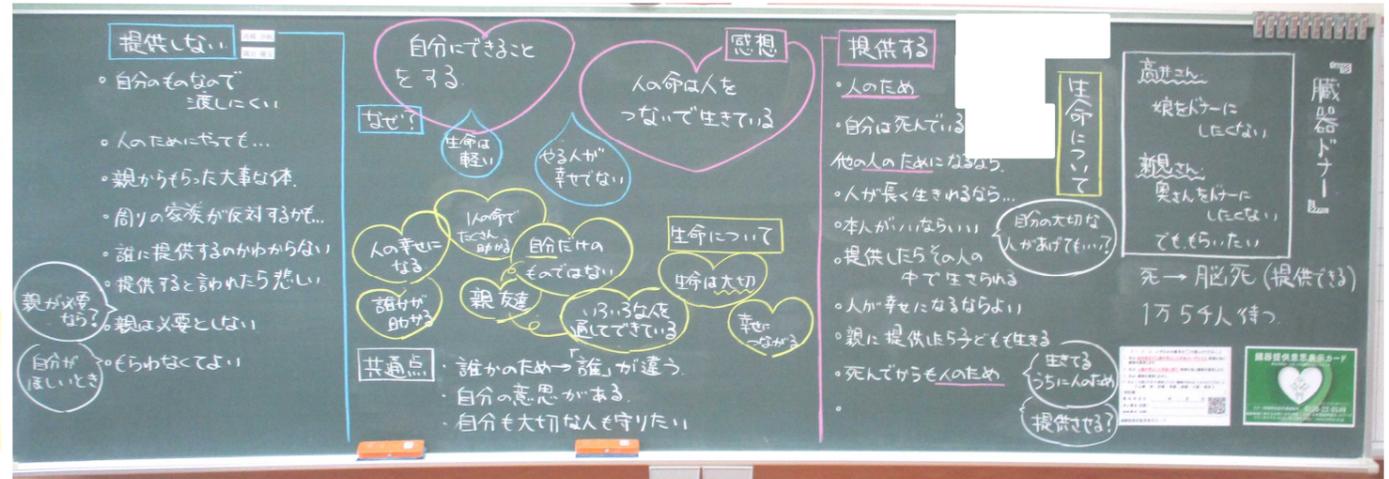
中部教育事務所



内容項目 D-19 【 生命の尊さ 】

～教材分析～

- ・葛藤が起こる発問
- ・ゴールに引き出したい生徒の姿を具体的に描ききる。
- ・気付かせたいことは何か？ 考えさせたいことは何か？



1. 何を深めるのか

指導の要点

実態を踏まえ、生徒と何を考えたいのか 指導の意図を持つ

生命は何にも変えることのできない尊いものである。しかし、分かってはいるものの日々の生活の中で意識することは少ない。そこで、「臓器ドナー」について討論を行うことで、多様な考え方に触れ、改めて生命の尊さについて考える中で、日々の生活について振り返り、友達に対しての言動や、家族の思いを再確認し、生命を大切にすることはどのようなことか考えさせたい。

引き出したい生徒の考え 生徒の言葉でゴールを明確に描く

- ・自分の生命と同じように、他者の生命も大切にしていきたい。
- ・どんな生命にも、それを大切に思っている人の存在がある。
- ・自分の人生を精いっぱい生きていくことが、生命を大切にすることに繋がる。
- ・生命の問題は重いものであるため迷いが生まれ、簡単に判断することはできない。
- ・自分の生命はたくさんの人の支えで存在している。
- ・～さんの話を聞いて、普段の生活で軽々しい言葉を使っていた。もう少し気をつけて話ができるようにしたい。

ねらい

臓器提供という現代的な課題を通して、生命の尊さを深く理解し、自他の生命をかけがえのないものとして尊重しようとする態度を育てる。

発問構成 「考え、議論する道徳」

討論課題から生徒の主体性、対話を促し(議論)、多様な価値観に触れ、互いの考えの共通点から主題へ迫る(考える)。



2. どう深めるのか

～指導上の3つの工夫点～

自分自身との関わりで考えるための工夫	自分自身の臓器提供や、家族など大切な人の臓器提供に同意するかどうかを考えることを通して、生命の尊さについて考える。
多面的・多角的に捉えるための工夫	臓器提供の事例について考えることを通して、生命の尊さについて、有限性や連続性、社会的な関わりなど様々な面から捉え、理解を深めていく。
主題に迫るための工夫	自分や大切な人の臓器提供について考えることを通して、葛藤や迷いの裏側にある生命の尊さについて捉えさせる。また、大切な生命を尊重するとはどのようなことか考えさせることによって、自他の生命を尊重する態度を育てていきたい。

具体的手立て

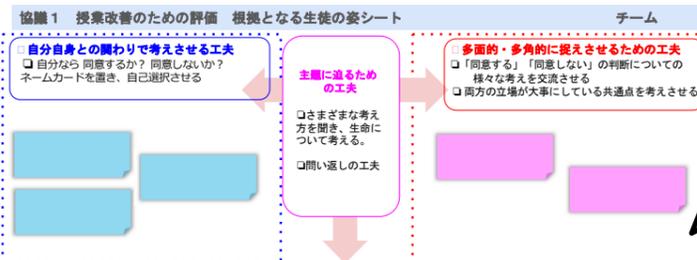
葛藤の場面(討論課題)を取り入れ、自己決定の場をつくる。

討論場面を設定し、グループでの話し合いの中で、互いに質問をし合うことで、他者からの様々な考えに触れられるようにする。できるだけ子供たち同士での話し合いにするが、話し合いが深まらない場合は、互いの意見に対して揺さぶりの発問を投げかける。

問い返しの発問や、揺さぶりの発問を行い、子供の考えを広げたり深めたりする。また、生活場面にも触れ、考えたことがこれからの生活に活かすことができるようにする。

3. 生徒の姿から指導の工夫の実効性を検証する

授業改善のための評価根拠となる生徒の姿シート ICTの活用: Google スライドを使用した協議、共有



◆検証方法◆

- ①生徒の発言を付箋に記録
- ②付箋に記録した発言から指導の工夫の実効性を検討

●自分自身との関わりで考えさせる工夫
 討論課題を仕組むことで、自己決定する場があり、生徒達がそれぞれの意見に分かれて自分の考えを伝えることができていた。

●多面的・多角的に捉えさせるための工夫
 臓器移植を「行う」「行わない」両者の立場から、それぞれの考えを聞き、質問をし合うことで、生徒同士で関わり合い、様々な角度から話し合うことができた。

●主題に迫るための工夫
 教材の押さえが足りなかったことから、みんなが同じ土俵に立って話し合うことができていなかった。みんなが臓器ドナーの必要性や、投稿された2つの内容を押さえた上で話し合いを行わないと、主題に迫ることはできない。

「考え、議論する道徳」の授業づくりをめざして

展開

○本時のテーマを示し、「命」について考えていくことを確認する

○あなたはドナーカードにどのような意思表示をしますか。[20分]

- ・ネームプレートを貼らせ、個人の意見を確認する。
- ・意見ごとにグループで分け、それぞれの意見を確認する。
- ・意見の異なるグループに対して、質問を考えお互いに質疑応答を行う。
- ・できるだけ、生徒中心での話し合い活動とする。

【補助発問】

(提供しないという意見に対して)

- ◆多くの人が臓器提供を待っているのに、提供しないのはどうなのか。
- ◆自分が臓器提供を待っている立場なら、してほしいのではないか。
- ◆臓器提供をすることで生命を救えば、周りの人も幸せにすることができる。(提供するという意見に対して)

◆死んでしまっているとはいえ、自分の体から臓器を取り出されてもいいのか。

◆どこの誰かもわからない人に、自分の臓器を提供するのはどうなのか。

◆自分が提供をしてしまえば、家族が悲しむのではないか(全体に対して)

○どちらの意見にも共通していることは何だろう。

討論課題

【臓器提供を行う】

- ・多くの命を助けることができるから。
- ・自分は死んでいるので、役に立つことをしたい。
- ・誰かの中で自分が生きることに繋がる。

【臓器提供は行わない】

- ・自分の体は最後まで自分で持っておきたい。
- ・臓器を取り出されたくない。
- ・誰かわからない人に臓器提供をしたくない。

互いの考えの共通点を考える

・どちらも命に真剣に向き合っている。命を大切に思っている。